

第13回 全国生産活動・就労支援部会職員研修会

同時開催：北海道チャリティー見本市 ～味よし、品よし、心よし～

(北海道障がい者就労支援事業所によるチャリティー見本市)

テーマ『温故創新』

～ふるきを^{たず}温ねて新しき多様な働き方を創る～

趣旨

就労系福祉サービスにおいては、令和7年10月から障がいのある方の就労ニーズや適性ととも
に、就労に必要な支援や配慮を整理した上で、働くことについての選択をサポートする「就労選択支
援事業」が開始されます。今後益々、障がいのある方が地域の中で安心して生活をおくるためには、
その生活を経済的に支える働く場において、障がいのある方が活躍のできる就労支援の在り方、また、時代に
多様な働き方への支援ニーズに応じていくためのスキルが支援者に求められています。

そこで本研修会では、1日目は【草創期をたずね研鑽する日】として、障がいのある方が社会の一員として地域生
活を送るために、「働く」ことを中心に実践を通じた想いや知恵を学び、それを探求し未来の材料とする日。2日目は
【新しい時代に
応じた就労支援を研鑽する日】として、障がいのある方が各分野で働く実践の中で新たな取り組みや
想いを学ぶ日とします。

また研修会場において、「北海道チャリティー見本市」を同時開催し、「共通の技術の普及と向上」「共通の市場の
構築」「共通の情報の蓄積」を目的として、北海道にある障がい者就労支援事業所製品の展示・チャリティー販売を
すると共に、今後の事業所間での取引やコラボ商品等の協働を進めるため商談コーナーを設置します。

今後の障がいのある方の多様な働き方についての支援を考え、新たに創り出すヒントを得る機会として、また全国
就労支援事業所間でのマーケットを広げる場として本研修会を開催します。

大変過ごしやすい時期の初夏の北海道で、多くの皆様の本研修会への参加を心よりお待ちしております。

主催

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会
一般社団法人 北海道知的障がい福祉協会

後援

北海道、札幌市、社会福祉法人北海道社会福祉協議会(予定)

日程

令和7年6月30日(月曜日)～7月1日(火曜日)

会場

研修会 かでる2.7 1階 かでるホール(北海道札幌市中央区北2条西7丁目)
チャリティー見本市 かでる2.7 1階 かでる展示ホール(北海道札幌市中央区北2条西7丁目)
情報交換会 グランドメルキュール札幌大通公園(北海道札幌市中央区北1条西11丁目)

参加対象

障がい福祉サービス事業所において生産活動や就労支援に携わる関係職員等

定員

研修会 250名
情報交換会 200名

参加費

会 員 19,000円
一 般 24,000円
情報交換会費 11,000円

※免税事業者のため、インボイス対応はできません。

申込締め切り

令和7年5月12日(月曜日)





受付 12:00~

1

主催者挨拶 12:50 ~ 13:10

樋口 幸雄(公益財団法人日本知的障害者福祉協会 会長)
大垣 勲男(一般社団法人北海道知的障がい福祉協会 会長)
志賀 正幸(公益財団法人日本知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会 部会長)

2

行政説明 13:10 ~ 14:10

テーマ「就労系障害福祉サービス施策の動向」
鈴木 大樹氏 (厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課
就労選択支援専門官)

【休憩】 14:10 ~ 14:20

3

記念講演 14:20 ~ 15:20

テーマ「^{あした}「明日」^むに向かって」
橘 文也氏 (日本知的障害者福祉協会・北海道知的障がい福祉協会 顧問
北海道 社会福祉法人空知の風 理事長
北海道 社会福祉法人栗山ゆりの会 常務理事・総合施設長)

講師紹介:昭和42年児童指導員として入職。昭和54年地域生活支援として制度開始前に家庭寮を開設。平成4年、北海道では初となるグループホーム併設の通所授産施設を開設するなど、既成の枠にとらわれず利用者の地域での自立を重視した福祉事業を展開。芸術活動の啓発にも尽力し、鼓笛隊や音楽バンドを利用者と結成。新聞等で注目されレコードを全国販売するなど、芸術を通じた社会参加に尽力した。第十四代日本知的障害者福祉協会会長。

【休憩】 15:20 ~ 15:30

4

シンポジウム 15:30 ~ 17:00

テーマ「障がいのある方の『働く』を学ぶ~想い・実践・こだわり・今後への提言~」

今年10月より新規事業「就労選択支援事業」が開始となります。これまでも社会情勢の変化、支援ニーズの多様化等に応じて、様々な就労系福祉サービスが展開されてきましたが、時代の変化に翻弄されることなく本当に必要な支援を届けるためには何が必要なのでしょう。

本シンポジウムでは、各地で草創期より実践を積み重ねてきた就労支援事業のパイオニアを招き、これまでの事業展開への情熱と知恵、今後の就労支援事業の展望について議論いただきます。障がいがある方が働くということの本質に迫り、これからの時代の就労支援について大きなヒントを得ることを目的としたシンポジウムです。

○シンポジスト

小坂 孫次氏 (岐阜県 社会福祉法人たんぽぽ福祉会 理事長)
長谷川 浅美氏 (茨城県 社会福祉法人白銀会 理事長)
榊原 典俊氏 (奈良県 社会福祉法人青葉仁会 理事長)

○進行

高橋 一裕 (日本知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会委員
北海道知的障がい福祉協会 就労支援部会 部会長
北海道 社会福祉法人北海道光生会 理事長)

情報交換会 18:30~ グランドメルキュール札幌大通公園



開 場 9:00~

1

行政説明 9:30 ~ 10:30

テーマ「就労選択支援について」

鈴木 大樹氏 (厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課
就労選択支援専門官)

【休 憩】 10:30 ~ 10:40

2

実践発表 10:40 ~ 12:30

テーマ「多様な働き方を実践現場から学ぶ」

先駆的・意欲的な取り組みを行っている北海道内の支援学校・企業・当事者・就労支援事業所より実践報告をいただきます。支援者の役割や多様な働き方を支える上で取り入れている工夫と試みを学び、これからの新しい時代に生産活動や就労支援に求められる役割、在り方、その先の可能性について、改めて考える機会とします。

○発表者

①支援学校から学ぶ
(調整中)

②企業から学ぶ

西川 一仁氏 (北海道 日本理化学工業株式会社 常務取締役)

③当事者から学ぶ

池下 皓亮氏 (北海道 社会福祉法人北ひろしま福祉会北広島セルプ 利用者)

④就労支援事業所から学ぶ

谷 敏彦氏 (北海道 社会福祉法人鷹栖共生会 とわ北斗 施設長)

○進 行

成田 英司 (日本知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会委員
北海道 社会福祉法人新冠ほくと園 業務執行理事・統括施設長)

3

閉会式

次期開催地区挨拶(近畿地区)



北海道チャリティー見本市~味よし、品よし、心よし~

会期：6月30日 12:00~17:30、7月1日 9:00~13:30

会場：かでの2. 7 1階展示ホール(研修会会場隣)

全国からお越しになる皆様に北海道産食材をふんだんに使用した生産品にふれていただく貴重な機会として見本市を開催します。ケーキ等のお菓子、鮭とば、生そば、トマトジュース、きじ肉等、どこにも引けを取らない「味、品質、気持ち」を大切にしている北海道の生産品をぜひお楽しみください。

また、同会場において生産品商談コーナーを設けます。今回限りではない継続的な繋がりや市場の開拓や拡大のため、お気軽にご利用ください。

なお、売り上げの一部を北海道共同募金会等に寄付いたします。

<会場アクセス>

研修会場：かでの2・7 1階 かでのホール

(北海道札幌市中央区北2条西7丁目)

情報交換会：グランドメルキュール札幌大通公園

(北海道札幌市中央区北1条西11丁目)

情報交換会会場
グランド
メルキュール
札幌大通公園



●参加申込方法

下記のURLまたは右の二次元バーコードより申し込み専用サイトに接続し、必要事項をご入力の上、令和7年5月12日(月)までにお申し込みください。

<https://amarys-jtb.jp/seisan2025/>



* 取消料(情報交換会)：5月30日(金)までは無料、5月31日(土)以降は100%必要となります。

●当日ご参加までの流れ及びお問い合わせについて

- (1) ①『はじめてご利用される方』から「参加」に(宿泊申込希望の方は宿泊にも)チェックを入れて次へお進みいただき任意のログインIDとパスワードを設定して個人情報登録を完了ください。
②次の画面で参加登録へ進みますので申込を完了ください。宿泊を申込の方はホテル選択の画面へ進みます。
③すべての登録を完了後、支払手続きの画面から銀行振り込み又はクレジットカード清算を選択頂いて期日までに参加費等のお支払いをお願いします。
* 各登録完了時に確認メールが届きますのでメールの受信拒否設定等をされている場合には事前に@jtb.comからの受信が出来るように設定を変更してください。
* 翌営業日を過ぎても「申込完了」のメールが届かない場合は、株式会社JTB北海道事業部MICEセンターへご連絡ください。
- (2) 5月12日(月)までに登録内容の確認・変更・取消をされる場合はマイページからお手続きください。
ログインされる際には、初回申込み時に登録されたE-mailアドレスとパスワードが必要になります。
- (3) 締切日以降の変更・取消は、株式会社JTB北海道事業部MICEセンターまでご連絡ください。
- (4) 参加費入金後の参加取消は原則として返金対応致しかねます。

【お問い合わせ先】

【本研修全般に関すること】

一般社団法人北海道知的障がい福祉協会

〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目 かでの2・7 (担当/藪・志賀)

TEL: 011-271-0228 FAX: 011-271-4202

【お申込みに関すること】

株式会社JTB 北海道事業部 MICEセンター

〒060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目1-2 アーバンネット札幌ビル8階 (担当/池田・石田・川口)

TEL: 011-221-4800 FAX: 011-222-5102 E-Mail: jtb-mice@jtb.com

営業時間: 9:30~17:00 (土日祝日は休業)